

## キャリア・リソース・ラボ

- Career Resource Laboratory

開設:	2001年8月1日
代表者:	武藤 佳恭
関連Web Site:	<a href="http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/career.html">http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/career.html</a> <a href="http://crl.sfc.keio.ac.jp/">http://crl.sfc.keio.ac.jp/</a>
連絡先:	慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス Z館203号室 ラボラトリ事務局 Tel: 0466-49-1042

## ● 構成メンバー

武藤 佳恭	環境情報学部教授	キャリア・リソース・ラボ代表。オンライン アセスメントメカニズムの開発 キャリアアドバイザーの育成・組織内位置づけの研究、自律型キャリア開発の調査・研究・啓蒙活動
花田 光世	名誉教授	
清木 康	環境情報学部教授	キャリア開発に関するデータベース構築
飯盛 義徳	総合政策学部教授	地域におけるキャリア支援と職業教育の連動の枠組み作り
須藤 実和	政策・メディア研究科特任教授	次世代経営者教育ならびに未来組織の経営システムの役割に関する研究
村上 恭一	政策・メディア研究科特任教授	新企業内教育、コーポレートガバナンス/CSRとキャリアの研究
野口 海	政策・メディア研究科特任准教授	新EAPの研究、組織のメンタルヘルスへの対応研究
宮地 夕紀子	政策・メディア研究科特任講師	キャリア自律プログラムの導入、キャリアアドバイザーの研究
吉澤 康代	政策・メディア研究科特任講師	新しい働き方とダイバーシティマネジメントの視点からみたキャリア開発の研究
伊藤 良二	政策・メディア研究科特任教授	未来組織の経営システムと経営幹部の役割に関する研究
小杉 俊哉	総合政策学部講師(非常勤)	自律型キャリア開発の調査・研究・啓蒙活動
櫻田 周二	政策・メディア研究科特任講師	新しい社会参加活動づくり、個人の意識改革研究
大木 紀子	SFC研究所上席所員	自律型キャリア開発、キャリアアドバイザーの育成活用研究
伴 英美子	政策・メディア研究科特任講師	介護・看護スタッフのキャリア開発、キャリアアドバイザーの育成活用研究
高橋 俊介	政策・メディア研究科特任教授	自律型キャリア開発の調査・研究・啓蒙活動
坂田 哲人	政策・メディア研究科後期博士課程	ワークブレイスラーニングを通じた組織における多面的な人材育成の研究
小山 健太	政策・メディア研究科研究員	若手社員のリアリティショックの研究
森谷 一経	政策・メディア研究科後期博士課程	大学におけるキャリア教育と就職支援の研究
稲垣 久美子	政策・メディア研究科後期博士課程	大学におけるキャリア教育の有効性の研究
堀内 慎一郎	政策・メディア研究科後期博士課程	海外経験をもとにしたキャリア開発
堀内 泰利	総合政策学部講師(非常勤)	キャリア自律の調査・研究、キャリアアドバイザーの育成活用研究

## ● キャリア・リソース・ラボとは？

人材流動化の時代、個人のキャリア開発のあり方が大きく変わってきています。キャリア・リソース・ラボ(以下「CRL」)では個人が自律的に、自己責任でキャリアを形成するサポートを行っています。そのため、自律的なキャリア形成に対する研究調査をはじめとして、キャリアアドバイザーの育成、様々なセルフ・アセスメント・ツールの開発、キャリア自律研修の実施、人事スタッフに対する新しいキャリアサポートプログラムの提言などの活動を行っています。CRLではこのような活動を企業と一体となって実践していますが、加えて様々なキャリア開発サポートサービスを提供している人材サービス提供会社ともタイアップして、企業の現場で活用できるサービスの開発を行っています。

CRLは企業の人事・教育・組織設計の専門プロフェッショナルとして、個人主導のキャリア自律支援をサポートする研究・サービスの提供を行っている実践研究集団です。いわば研究中心のThinkTankから、行動実践をも提供するAction Tankを志向しているグループです。

従来、組織は自組織にとって必要なスキルを組織主導で提供してきましたが、組織と個人の関係が変わり、個人主導で自分たちのライフスタイルや価値観に適合したライフキャリアを創造・開発するというパラダイムシフトが起きています。

このパラダイムシフトに対応するには、個人個人の自律的キャリア開発支援のサポートプログラムの開発、また、その個人々にアドバイスを提供する、キャリアアドバイザーの育成が急務となります。私たちCRLではこのニーズに対応するプログラムの開発・支援を行いながら新たな組織と個人の働き方を研究しています。

## ● 今後の研究テーマ

- ・ 国内において、キャリアに関する新しい研究機関としての先進的役割を担います。
- ・ 海外の研究機関との連携を通じ、グローバルな視点に立った情報発信を行います。
- ・ キャリア・セルフ・リアライズ(キャリア自律)の啓蒙活動を通じ、21世紀の個人と組織の、新しいパートナーシップの開発を目指します。
- ・ キャリアアドバイザーの育成とサービスレベルの向上を通して、実践的なキャリア支援活動を行います。
- ・ 各企業で設立される多様なキャリアサポートセンターの支援を行うことにより、企業のキャリア自律プログラム運営のインフラサポートを行います。

[ 2018年12月現在 ]